

対象類型
革新的サービス
業 種
総合工事業

事業計画名

こだわるスーパー大工! SDGsへの認識! 四面自動^{かな}鉋盤導入による生産性向上

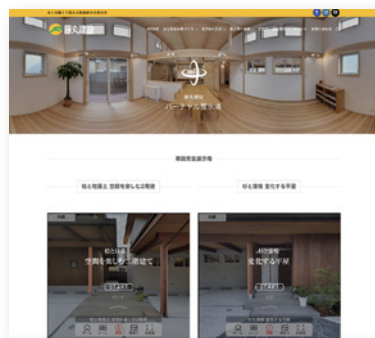
藤丸建設有限公司



上下左右の四方向すべての側面を1回の加工作業で切削できる四面自動^{かな}鉋盤のおかげで劇的に作業効率は向上した



加工された天然乾燥の無垢材



HPでバーチャル展示場を開設



藤丸 直行 取締役会長



profile
企業情報

会社名 藤丸建設有限公司
代表者 取締役会長 藤丸 直行
所在地 〒870-0125 大分県大分市大字松岡6645番地の14
TEL.097-594-3067 FAX.097-594-3965
URL <https://www.e-fuz.com>
事業内容 一般木造住宅の新築・建替・増改築・リノベーション工事、古民家再生、マンションリフォーム
資本金 300万円
設立 1993年(創業1969年)
社員数 30名



background
背景・経緯

天然素材の自然住宅を提案

新型コロナウイルスの感染拡大は各業界の行く末に様々な影響を与えているが、住宅業界に限っていえば住宅ローン減税の再延長やグリーン住宅ポイント制度の導入等による政府の景気刺激策により、次第に回復の向きがあるという予測も出てきている。また、緊急事態宣言中に在宅時間が増えた分、住宅に対する考え方がより深まったという声もあり、家づくりに関する業界は必ずしも下を向いている状況ではなさそうだ。

創業50年を超える業歴を持つ藤丸建設有限公司は、体に優しい木造優良住宅を手がける住宅会社として、その名が知られている。

同社の家づくりは、大分県産の無垢材を95%以上も使用し、長期間かけて自然乾燥を施すことにこだわる。また、高品質の珪藻土を用いることで、優れた調湿性能と消臭効果、メンテナンス性の高い自然素材住宅を提供している。加えて太陽光発電や高性能断熱サッシ、外断熱工法等を取り入れた、エコに徹した家づくりを貫いている。これらはCO₂削減に強い思いを寄せる藤丸直行取締役会長の哲学が強く反映されており、まさに国連が打ち出している「SDGs(持続可能な開発目標)」の思想を先取りした取り組みを実践してきたといえる。



details
事業内容

四面自動^{かな}鉋盤の導入がもたらす効果に期待

藤丸建設の丁寧な家づくりを支えているのが、大工、左官、設計といった職人魂を持った社員たちであり、その育成にも力を入れている。なかでも大工は「魁棟梁」と称される3人の“匠”が現場での士気を高め、若手大工の育成をリードする存在となっている。

一方で、生産性の向上と作業環境の改善を考慮すると、随所で機械設備の導入を行ってきた。契約期間内の竣工・引き渡しを考慮すると、現場作業の短縮化は顧客満足度にも関わってくる。そこで今回の事業は、大工作業の効率を向上させる四面自動^{かな}鉋盤の導入に活用した。

四面自動^{かな}鉋盤は、加工する材木の上下左右、四方向の側面すべてを、1回の作業のみで切削できる。これまで使っていた二面自動^{かな}鉋盤では、3回にわたる加工作業が必要だったものが1回の工程に集約されるのだから、作業効率は1/3に縮小できることになる。

このほか多様な加工方法が選択でき、操作性も向上しており、過大切削防止装置、左立軸の昇降、下軸の上下調整、全体安全カバーと機能も多岐にわたっていることから、導入を決定した。



achievement
成果

家づくりへの思いを機械化でサポート

自然乾燥にこだわりを見せる藤丸建設は、市場から仕入れたグリーン材(未乾燥の製材)を少なくとも3年以上かけて自社で乾燥させる。自然乾燥であるが故に、乾燥期間中に多少の縮みや歪みが生じてしまうのだが、これを鉋で真四角に加工処理する。ただし、これらは柱や梁など構造材に使用するものなので、重量が大きいものばかり。職人が加工作業するには多大な負担をかけていた。

本事業で導入した四面自動^{かな}鉋盤は、このような作業工程が1回に集約される分、職人の身体的負担の軽減にも貢献した。これまで複数人が必要だった操作・管理が1人でできるようになり、生産性も大きく向上した。



future
展望

作業効率の改善で技術力に磨きをかける

藤丸建設が提案する、天然素材の家づくりに共感する顧客は増えている。

従来は資金的に余裕がある高齢者層が多かったが、最近は30~40代といった年齢層の家族も展示会場で真剣に耳を傾けるという。コロナ禍で新規顧客とのコミュニケーションが困難になったが、同社ではホームページを通じてVRによるバーチャル展示場を開設し、家づくりに対する考え方を発信している。

機械化で作業効率が高まった分、持ち前の技術力に磨きをかける環境も整った。引き続き使命感をもって、高品質の家づくりに励んでもらいたい。

Point

SDGs の時代を先取りした家づくりに邁進。
新規設備導入で作業環境を整え、
さらなる技術力の研鑽に努める。